

こんにちは。

新しい年度の始まりですね。

今月は子どものあたらしい生活の始まりに送りたい絵本です。

『わたしようちえんにいくの』

ローレンス・アンホールト文 キャスリーン・アンホールト絵 文化出版局

1993年 1325円 絵本

<お勧め年齢>

幼稚園★★★ 小低学年☆☆☆ 小中学年☆☆☆ 小高学年☆☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

アンナはまだちいさいから、おにいさん、おねえさんのようにがっこうへはいけません。ママはアンナをようちえんにつれていきました。

あたらしいくつをよういして、ぬいぐるみをつれて…ようちえんでまっていたのは、やさしいサムせんせい。ママはかえるまえにこういいました。

「アンナ、なにか いいもの つくって あとで ママに みせてね。」

アンナがつくったいいものは、あなたもきつとようちえんでつくることができますよ！

<子どもに手渡すときのポイント>

絵が少し細かいので大人数には向かないかもしれません。少人数かご家庭で楽しめる絵本です。外国の作品ですが、日本の幼稚園の雰囲気も充分出していて、これから幼稚園に行くお子さんに手渡してみてもはどうでしょうか？



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。

子ども図書館 重村 さやか